

内閣参質一八九第三六一号

平成二十七年十月六日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

参議院議長 山 崎 正 昭 殿

参議院議員小西洋之君提出安倍内閣による終戦七十年目の「内閣総理大臣談話」に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。



参議院議員小西洋之君提出安倍内閣による終戦七十年目の「内閣総理大臣談話」に関する質問に対する答弁書

一から三までについて

平成二十七年八月十四日の内閣総理大臣談話は「二十一世紀構想懇談会」において有識者の方々が共有した認識、その同月六日の報告書の上に立って作成した。当該報告書には、「千九百五年、日露戦争で日本が勝利したことは、ロシアの膨張を阻止したのみならず、多くの非西洋の植民地の人々を勇気づけた。のちに千九百六十年前後に独立を果たしたアジア、アフリカのリーダーの中には、父祖から日露戦争について聞き、感激した人が多かった」との記述がある。その上で、個別具体的な歴史的出来事に関する評価については、歴史家の議論に委ねるべきと考える。

